

Kobe Morning Rotary Club Weekly Report

2017-18

週報

例会 木曜 7:00-7:45 香港茶楼

TEL 078-392-0775

Email kmrc2680@gmail.com

ホームページ <http://www.kobe-morning.com/>

例会情報 <https://goo.gl/fnmR8H>

会長 安田幸司 幹事 門脇正英

今年度方針 「強いクラブになる！強いチームになる！」

Rotary
神戸モーニングRC



2017年12月21日(木) 第22回例会(通算64回)

「イニシエーションスピーチ」

梅本 浩輔 会員

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ 御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和 めぐる歯車いや輝きて
永久に榮えよ 我等のロータリー ロータリー

※ 12月28日と1月4日は休会となります。

1/11(木)	新年例会・清掃	7:00-7:45	香港茶楼
1/18(木)	「ひょうごコミュニティ財団について」	7:00-7:45	香港茶楼
1/25(木)	「和田興産とマンションについての紹介」	7:00-7:45	香港茶楼

幹事報告

案内

1/25 地区補助金プロジェクト一般見学(伊丹RC) 1/18 締

週報

神戸第2グループ内クラブ、神戸RC、神戸東灘RC、神戸六甲RCより



委員会報告

12/14 会長幹事懇談会(安田会長)

12/17 補助金管理セミナー(奥田会員)

前回例会報告 [12/14(木)]

来訪者

ガバナー 瀧川好庸様(神戸西RC)、地区大会実行委員長 村野利昭様(神戸西RC)
前田洋明様(神戸RC)、上村幸太郎様(神戸RC)

出席

当日 91.7%(22/24名) 会員数 27名(出席免除者3名) 12月暫定出席率 89.6%(MU2回)

ニコニコ

瀧川ガバナー：ご挨拶。安田会長：瀧川ガバナー、村野さんようこそ神戸モーニングRCへ。

簡 会員：瀧川様、村野様、本日は朝早くからようこそモーニングロータリーへ。

奥田会員：瀧川様、村野様ありがとうございます。

村上会員：瀧川ガバナー、村野様、本日はありがとうございます。瀧川高校、第二高校、
村野工業、いつもサッカー、野球等で応援しております。

会長の時間

皆さんおはようございます。瀧川ガバナーを始め沢山のご来訪ありがとうございます。こんなに大人数になってきて感慨深いです。ちょうど今から2年前、神戸モーニングRCの準備会の場所に行きました。その時は古賀さんの事務所をお借りして杉山初代名誉会長を始めとして6人ほどではじめていたのですが、2年経ってきちっとした形で朝の例会を迎えることができ本当にうれしい気持ちでいっぱいです。皆さんの協力あって出席率がどんどん上がってきています。我々に出来ることは今それくらいしかないと思います。ロータリークラブという名前を使わせていただいておりますので、その名に恥じない良いクラブにしていきたいと思います。今日の瀧川ガバナーは学校経営をされていて、Kobeccoにも、例会は大人の学校だと書かれていました。本当にそうだと思います。我々も大人になっても新たな学びを一つずつ深めていきたいです。皆さん今日も例会を楽しみましょう。よろしくお祈りします。

前回のプログラム：ガバナー公式訪問 瀧川好庸 氏

おはようございます。昨日は西宮イブニング、今朝は神戸モーニングに来ております。まだ1歳半くらいですね。これからのクラブで羨ましく思います。なぜかといいますと、皆でどうとでも作っていきけるんです。生まれたばかりだから、どのように育てていくかは皆さん次第です。皆さんがこのクラブを大事にしようと思っていればどんどん良いクラブになっていきます。ロータリーでは、まず親睦ということで朝早くから100%とは素晴らしいなと思います。クラブには色々な人がいますので、仲良くしたり、ぎくしゃくしたりして自分を育てていく、そして外に出て奉仕する。もう一つロータリーで大事なものは、地域との密着です。地域あればこそそのロータリークラブなのです。地域のおかげで生活できている人が多いと思います。今度はそれを返していく必要があると思います。それがロータリーの根底にあるものではないかと思えます。

年初に国際協議会というサンディエゴで開かれる会に行ってきました。日本には34地区あり、それぞれにガバナーがおります。世界には540地区ありますから540人のガバナー達がサンディエゴに集まって研修を受けました。色々な人種が民族衣装を着たりしていたので、ロータリーって国際的なのだと実感しました。その中で、今年度のRI会長イアン・ライズリーさんが言ったのは、世界の120万人の会員は20年変わらなくて、年齢構成は40歳以下が5%、そして女性会員が20%と少ない。今日は若い人たちが集まっていますが、高齢のクラブが増えていきます。放っておくと平均年齢は毎年1歳ずつ上がっていきますので、若い人たちを入れて活気あるクラブにしてほしいと思います。

つぎに、継続性についてですが、私の入会した当時はロータリーは単年度制でしたが、5年ほど前から変わってきました。ロータリー財団というのができて、未来の夢計画が始まって、今は単年度ではなく、継続的なプロジェクトが実施されています。その代表的な例がポリオ撲滅運動で、今も継続中です。

もう一つRI会長が言われていたのが、公共イメージです。まだロータリーは世間で知られていません。どんどん宣伝すればよいとは思いますが、地道に活動していると認知度が上がると思います。そこでRI会長は、一人1本の植樹をしようと呼びかけています。

ロータリーは最近変わりはじめています。前後1週間だったメイクアップが、今は2週間になりました。そして2016年5月の規定審議会で変わったのが、例会が月2回でも良くなり、インターネットを使用した

例会も可能になりました。それから入会資格は評判の良い人は誰でも入会可能になっています。そのような変化をしているということをお伝えしておきます。



最後に、寄付と奉仕の関係の話をしておきます。先日のロータリー研究会にロータリー財団管理委員長のポール・ネッツェルさんが来られており、リンドバーグの話がされていました。リンドバーグは、ニューヨークとパリの間を単独無着陸飛行した方ですが、これが成功した話です。リンドバーグはお金が無いので、セントルイスの商工会議所の会頭が会員に呼びかけお金を集めました。サンディエゴの技術者に飛行機を作ってもらい、横断に成功しました。その飛行機の名前がSpirit of St. Louisだそうです。セントルイスの皆で作上げた機体でした。それから失敗を繰り返し、8年後の1927年に横断しました。その飛行機に乗って「翼よ、あれがパリの灯だ」と叫んだそうです。それを考えた時に、まずは言い出しっぺがいなくて始まらないということです。そしてそれを実現しようとする人が必要です。お金を出す人たちも必要、技術者も必要です。このような人たちがいなければリンドバーグは成功できませんでした。ロータリー財団に当てはめると、言い出しっぺのアーチ・クランフがいなくて存在しませんでした。最初は\$26.50しか寄付が集まらず、長い間それが続きました。なぜかというところ最初はロータリーは相互扶助団体でした。しかしそれではいけないと、奉仕が始まりました。それで近年お金が集まってきました。そのお金をポリオ接種する人も必要です。その両方があってポリオがなくなっていきます。ですので、これからも奉仕や寄付だとか言ってくると思いますが、ロータリー精神とは両方が合わさって成り立つのです。

